

令和5年度
第1回南房総市地域公共交通活性化協議会
(兼地域公共交通会議) 次第

令和5年8月10日(木) 15:30～
於：南房総市役所別館1多目的室

1 開 会

2. 委嘱状交付

3. 会長あいさつ

4. 議 事

- (1) 令和4年度協議会事業報告について 【協議第1号】
- (2) 令和5年度協議会事業計画(案)について 【協議第2号】
- (3) 令和5年度協議会予算(案)について 【協議第3号】
- (4) チョイソコまるやま(仮称)の実証運行について 【協議第4号】
- (5) 自家用有償旅客運送登録の更新について 【協議第5号】
 - 5-1 市営路線バス富山線の一部ダイヤ改正
 - 5-2 市営路線バス富浦線の一部ダイヤ改正
 - 5-3 自家用有償旅客運送登録更新申請
- (6) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会について 【報告第1号】

5. その他

6. 閉 会

令和5年度

南房総市地域公共交通活性化協議会（兼地域公共交通会議）委員名簿

※○＝新規着任

行政機関 (9名)	関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官	高橋 直人
	関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官	小林 聡 ○
	千葉県総合企画部交通計画課企画調整班長	小松 直人○
	千葉県県土整備部道路計画課副課長	近藤 亮
	安房土木事務所管理課長	佐久間 洋一
	安房土木事務所調整課長	田中 昭光○
	館山警察署交通課長	齊藤 佳則○
	館山市総合政策部企画課長	黒川大治郎○
	南房総市副市長	嶋田 守
民間事業者 (9名)	一般社団法人千葉県バス協会専務理事	成田 斉
	東日本旅客鉄道株式会社館山駅長	簾谷 幸治
	日東交通株式会社運輸部長	高橋 晴樹
	ジェイアールバス関東株式会社館山支店長	竜崎 広幸
	ちばシティバス株式会社代表取締役社長	森 勉
	千葉県タクシー協会理事兼(有)白浜タクシー代表取締役	平野 直
	南房タクシー株式会社代表取締役	本間 裕二
	安房道の駅連絡会会長	鈴木 賢二
	日東交通労働組合安房支部代表	新井 博幸
住民・利用者 代表 (7名)	富浦地区	穂積 利夫
	富山地区	川名 淳代
	三芳地区	青木 文男
	白浜地区	本橋 清一
	千倉地区	吉田 幸夫
	丸山地区	遠藤 茂
	和田地区	近田 秀樹

○会議開催

月日	内容
R4. 5. 26 (木)	第1回 法定協議会 (於：三芳農村環境改善センター2階大会議室) (1) 役員の選出について 【協議第1号】 (2) 協議会規約の一部改正について 【協議第2号】 (3) 令和3年度協議会事業報告について 【協議第3号】 (4) 令和4年度協議会事業計画(案)について 【協議第4号】 (5) 市営路線バス富浦線の実証運行について 【協議第5号】 (6) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会について 【報告第1号】
R4. 8. 10 (水)	第2回 法定協議会 (於：南房総市役所別館1大会議室) (1) 市営路線バス富浦線の実証運行について 【協議第6号】 (2) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会について 【報告第2号】
R5. 3. 3 (金)	第3回 法定協議会 (書面開催) (1) 市営路線バス富浦線の実証期間延長について 【協議第7号】

○主な事業報告

①市営路線バス富浦線の実証運行について

お買い物需要の検証のため、商業施設への運行ルートを実証運行にて設定しました。館山市のカインズ館山、おどや船形店に週2回、朝の1便でいけるようにダイヤを組み、令和4年10月から令和5年3月まで実施し、その間、富浦地区の民生委員にも協力いただきながら、実績としては、58名のご利用だった。なお、令和5年9月末まで実証期間を延長している。

②南房総・館山地域公共交通活性化協議会について

合同協議会では、令和4年度事業として、主に次の二つの事業を実施しました。

②-1 チョイソコ南房総・館山の実証運行

- ・実施期間：令和4年10月17日～3月末までの約6か月間
- ・実証内容：乗り合い送迎サービスとして、会員登録制、事前予約制により週5日、9時～15時までの6時間運行、ワゴン車による運行など

②-2 豊房線エリア買い物シャトルサービスの実証運行

- ・実施期間：令和4年12月～3月末までの4か月間
- ・実証内容：定時定路線型で曜日別週3日の運行(豊房、神戸、千倉町大貫、白浜町川下の一部)、ワゴン車両によるお買い物需要(おどや・尾張屋)の運行など

③広報活動について

令和4年度では、広報「みなみぼうそう」に交通に関する啓発を掲載しました。

- ・10月号に、チョイソコ南房総・館山の実証運行について
- ・3月号に路線バス「白浜千倉館山線」のダイヤ改正について

令和5年度 南房総市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）

（1）事業実施における考え方

平成29年度より地域公共交通再編実施計画の事業認定へ向けた、関東運輸局をはじめ関係機関との協議・調整を実施してきた中で、再編実施計画の肝である「利用実態に合わせた面的な再編」のために路線の沿線市である館山市との緊密な連携をとることについて計画に盛り込むことが必要となった。そのため、館山市に合同の計画策定及び交通会議の設置を申し入れ、令和元年度に「南房総・館山地域公共交通活性化協議会」を設立し、令和3年8月に「南房総・館山地域公共交通計画」を策定した。今年度も引き続き「南房総市地域公共交通計画」の各種事業を進めながら、合同計画との調整を図るものとする。

（2）主な事業計画

①自家用有償運送登録の更新について

- ・令和5年9月末までとなっている登録について、更新手続きを行う。
- また、富浦線、富山線において、一部ダイヤ改正に取り組む予定。

②チョイソコ南房総・館山のシステムを利用した実証運行について

- ・チョイソコ南房総・館山のシステムを利用して丸山地区において実証運行により需要検証を行う。

③南房総・館山地域公共交通活性化協議会について

- ・2市合同による「南房総・館山地域公共交通計画」に基づき、各種事業の取り組みと連携していく。
- ・令和5年度は、チョイソコ南房総・館山の本格運行と、エリア拡大の実証運行に取り組む予定。

④その他

- ・広報紙などによる公共交通に関する情報発信

南房総市地域公共交通活性化協議会

令和5年度収支予算書（案）

収入総額 2,570,888 円

支出総額 2,570,888 円

1 収入の部

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	前年度予算に 対する増減	説 明
1 市負担金	1,307,944	0	1,307,944	南房総市負担金
2 県補助金	1,262,944	0	1,262,944	千葉県補助金「持続可能な地域公共交通の確保支援事業」
3 国庫補助金	0	0	0	
4 諸収入	0	0	0	
合計	2,570,888	0	2,570,888	

2 支出の部

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	前年度予算に 対する増減	説 明
1 事務費	0	0	0	
2 事業費	2,570,888	0	2,570,888	チョイソコまるやま(仮称)実証運行事業費
3 予備費	0	0	0	
合計	2,570,888	0	2,570,888	

チョイソコまるやま（仮称）の実証運行について

1. 実証運行の目的

現在、当市は生活圏をともにする館山市と連携し、地域公共交通計画を策定し、持続可能な地域公共交通の各種事業に取り組んでいます。このほど、新たな取り組みの一つとして、実証運行を経て、令和5年10月より予約制乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」の本格運行を予定し、地域の移動手段の確保、地域公共交通の維持・存続のため、従来の路線バスからの転換を図ります。

今回の実証運行は、その予約制乗合送迎サービスの仕組みを利用することで費用を抑えながら、路線バスの本数が少なく、タクシー事業者も撤退してしまった南房総市丸山地区において、買い物需要等に対応する移動手段の確保、鉄道駅や地域間幹線系統のバス路線に接続できるよう運行エリアを設定し、当該地域の新たな交通手段の検証を目的として考えています。

2. 実証期間

令和5年12月1日から令和6年3月25日までの約4ヵ月間を予定

3. 運行内容

【運行エリア】南房総市丸山地区（民間路線バス沿線を除く）

【運行の位置づけ】乗合形式による実証運行※道路運送法第21条申請を予定

【運行日】月、水、金の週3日（1/1を除く祝日も運行）

【運行時間】8時30分から15時30分（13時～14時を除く）の6時間

【予定運賃】300円

【乗降場所】地域集会所、スクールバスのバス停、
市営路線バス丸山線のバス停、その他要望のある箇所など

【事前予約】事前会員登録および事前運行予約制度を導入する
チョイソコ南房総・館山の予約センターで受け付ける

【車両】10人乗りワゴン車

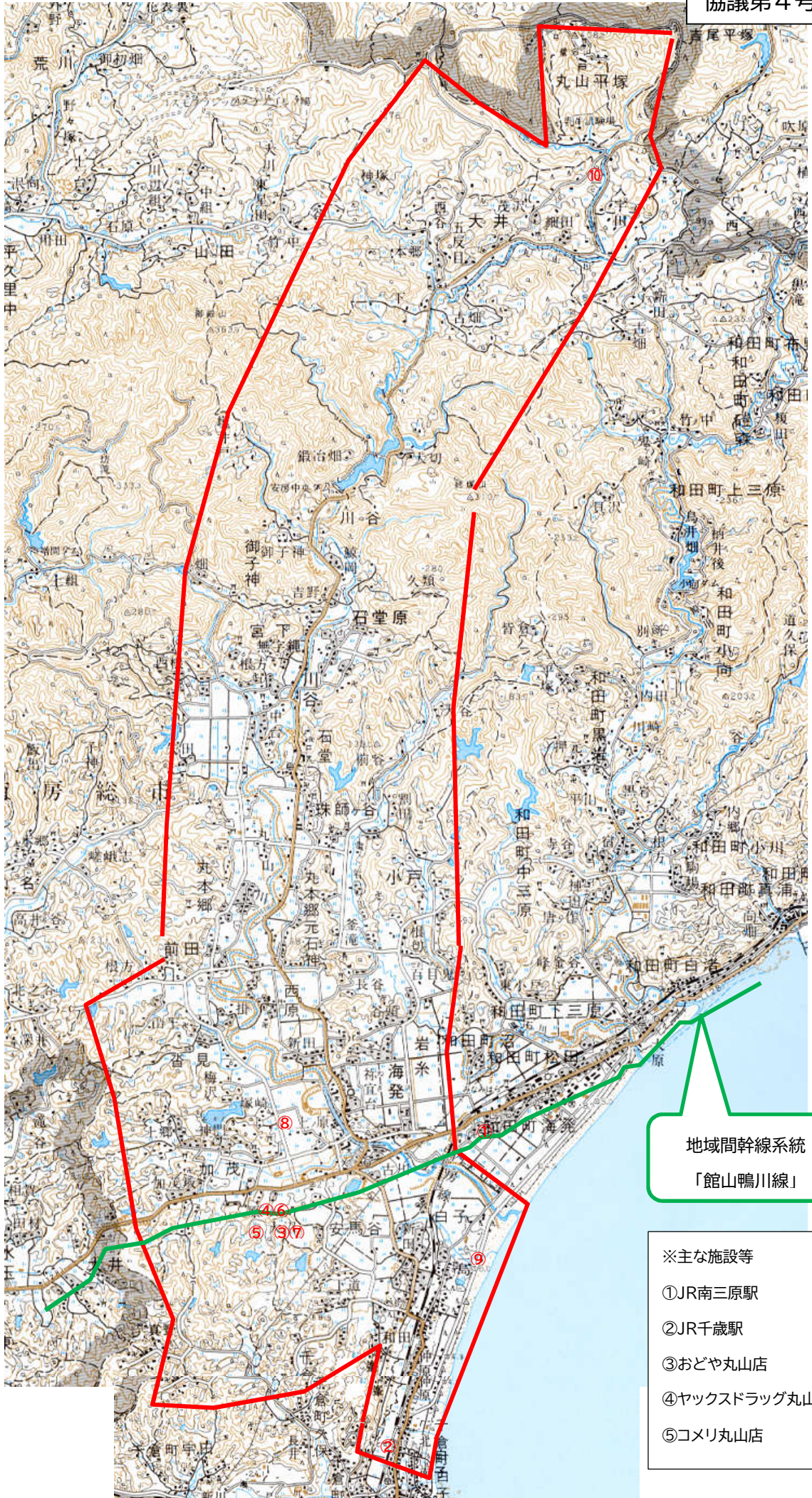
【運行事業者】鏡浦自動車㈱または南房タクシー㈱

【その他】

- ・チョイソコ南房総・館山の運営制度（会員登録や事前予約）を準用
- ・運転免許返納者、障害者手帳所持者向け割引制度の導入（運賃半額）
- ・南房総市高齢者外出支援バス利用助成券の適用
- ・タクシー共通回数券の導入
- ・路線バス丸線、市営路線バス丸山線は通常運行とする
- ・南房総・館山地域公共交通活性化協議会が行う館山市豊房エリアを中心とした実証運行（チョイソコとよふさ）と運行を共同で行うため、週3日となる

4. 今後のスケジュール（予定）

- ・8月：南房総市地域公共交通活性化協議会にて審議
- ・8月：南房総・館山地域公共交通活性化協議会にて報告審議
- ・8月：千葉運輸支局へ申請（実証運行に関する申請）※審査2ヵ月程度
- ・8月～：行政区への説明、地域住民への広報活動
- ・12月：実証運行開始



地域間幹線系統
「館山鴨川線」

- ※主な施設等
- ①JR南三原駅
 - ②JR千歳駅
 - ③おどや丸山店
 - ④ヤックスドラッグ丸山店
 - ⑤コメリ丸山店

R5.10より4条乗合運行予定
チョイソコ南房総・館山

南房総市丸山地区
チョイソコの仕組みによる実証運行



南房総・館山地域公共交通活性化協議会による実証運行エリア

別記第1号様式（第5条）

持続可能な地域公共交通の確保支援事業補助金交付申請書

令和5年6月30日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

所在地 南房総市富浦町青木28
名称 南房総市地域公共交通活性化協議会
代表者氏名 会長 嶋田 守

令和5年度において、持続可能な地域公共交通の確保支援事業を実施したいので、千葉県補助金等交付規則第3条の規定により、関係書類を添えて補助金の交付を申請します。

1 補助対象事業

	1 計画策定事業
	2 実態調査事業
○	3 実証運行事業

2 申請金額 金 1,262,944円

3 関係書類

- (1) 申請額内訳書（別紙1）
- (2) 事業の実施に関する計画書（別紙2）

(事務局)南房総市 総務部企画財政課
地域振興係 担当 / 忍足
Tel 0470-33-1001
Fax 0470-20-4598
E-mail kikakuzaisei@city.minamiboso.lg.jp

別紙1 (実証運行事業)

持続可能な地域公共交通の確保支援事業補助金
申請額内訳書

補助対象者名 南房総市 (単位：円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象 事業費	補助対象 経費	補助申請額
チョイソコまる やま実証運行	着手予定日： 令和5年8月中旬以降 完了予定日： 令和6年3月31日	2,570,888	2,525,888	1,262,944

※添付書類

- (1) 交通計画該当部分の写しまたは協議会における協議資料該当部分の写し
- (2) 実証運行の概要を説明する資料 (路線図、運行計画等)
- (3) 補助対象事業費に係る見積書等
- (4) その他補助金の交付に関して参考となる書類

別紙 2 (実証運行事業)

持続可能な地域公共交通の確保支援事業補助金
事業の実施に関する計画書

補助対象者名 南房総市地域公共交通活性化協議会

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

南房総市は、平成 18 年 3 月に、南房総地域の 6 町 1 村の合併によって誕生した市で、人口 35,000 人（令和 5 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口）の農漁村地域である。三方を海に囲まれた地形で、房総丘陵が海岸線近くに広がっており、総面積 230 平方キロのうち可住地面積は 110 平方キロと限られたエリアにしか居住地がないのが特徴である。

本地域の公共交通は、JR 館山駅を中心とした放射状のネットワークが形成されており、鉄道、路線バス、タクシー等が運行されている。本地域の交通の要衝であり、商店や事業所が多数立地している館山市と、町村合併により館山市を囲むように市域を展開している南房総市とは、通勤や通学、通院、買物等の相互流動が大きくなっている。

人口構成については、少子高齢化が進んでおり、高齢化率は 46.8%（令和 4 年 4 月 1 日現在）となっており、千葉県全体の高齢化率 27.5%を大きく上回る。生産年齢人口の流出に伴う著しい人口減少と高齢化の進展する「過疎地域」及び、交通条件や地理的条件等に恵まれず、他の地域に比べて地域住民の生活文化水準が低い基準である「辺地地域」も有する地域である。三方を海に囲まれる半島等特有性は変則的な地形に加え、面積が広い地域にもかかわらず可住地面積が限定されている。

当市の公共交通機関は、JR 東日本内房線の 6 駅（岩井・富浦・千倉・千歳・南三原・和田浦）が所在しているほか、ジェイアールバス関東、日東交通が運行するバス路線が合計 7 路線あり、館山駅から放射状に路線網を展開している。しかしながら各路線とも、沿線住民の人口減少等に伴い、利用者数の減少が続いている。特に廃止代替路線の 4 路線は、沿線市の館山市と共に年間計約 4,700 万円の補助金を支出している状況であり、現状の形態での継続運行に課題が生じている。このほか、当市では、前記のバス路線のほか市営路線バスと

して 2 路線、スクール混乗路線として 2 路線を運行委託している。また、長大路線も多く、非効率な運行形態となっている路線も存在する。

東京や県都千葉市との連絡（都市間輸送）については、運賃や本数で優位に立つ高速バスの利用が大半となっており、鉄道における都市間輸送の役割が薄れてきている状況である。このような状況を受け、平日の特急列車全廃や日中の普通列車の木更津駅での系統分離、木更津・上総一ノ宮間の 2 両編成の車両運行などが行われるなど、運行形態の変化がある中、利用者減少が続いている。

タクシーについても、利用者の減少により、平成 30 年 5 月に本地域では最大規模の会社が撤退したほか、令和 4 年度には丸山地区のタクシー事業者も廃業となるなど、大変厳しい状況である。

以上の実態を踏まえ、本地域が抱える課題は、次のとおりである。

- (1) 高齢者（買い物・通院）や通学利用者の移動手段の確保
- (2) 過度な自家用車利用の抑制
- (3) 地域特性に応じた交通サービスの提供
- (4) 一次交通と二次交通の接続利便性の向上
- (5) 観光二次交通の確保による観光需要呼び戻しへの寄与
- (6) 公共交通全般に関する情報発信の強化

2. 実証運行の目的

現在、当市は生活圏をともにする館山市と連携し、地域公共交通計画を策定し、持続可能な地域公共交通の各種事業に取り組んでいる。新たな取り組みの一つとして、実証運行を経て、令和5年10月より予約制乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」の本格運行を予定している。地域の移動手段の確保、地域公共交通の維持・存続のため、従来の路線バスからの転換を図る。

今回の実証運行は、その予約制乗合送迎サービスの仕組みを利用することで費用を抑えながら、路線バスの本数が少なく、タクシー事業者も撤退してしまった南房総市丸山地区において、買い物需要等に対応する移動手段の確保、鉄道駅や地域間幹線系統のバス路線に接続できるよう運行エリアを設定し、当該地域の新たな交通手段の検証を行いたいと考えている。

3. 事業の実施内容（複数ある場合は適宜行を追加すること。）

実施内容	実施期間	補助対象事業費
南房総市丸山地区における「チョイソコまるやま」の実証運行	令和5年12月～ 令和6年3月	2,570,888円

4. 調査結果の活用の方向性

本実証運行において従来の路線バスより利用者の満足度が高まるなどの傾向が見られた場合は、市及び当協議会にて本格運行に向けた検討を行い、現在運行している路線バスとの見直しも視野に入れ、南房総市・館山市地域公共交通活性化協議会との連携により地域特性に見合った交通システムの導入を目指す。

5. 経費等の明細（見込）		
実施項目	補助対象事業費	備考
運行に係る費用	2,449,888 円	
システムに係る費用	121,000 円	
合計 ⇒ (A)	2,570,888 円	
控除対象収入額	金額	備考
その他補助金交付申請額 （備考欄に補助金等の名称を記載）	(注)	
寄附金		
その他の収入	45,000 円	
合計 ⇒ (B)	45,000 円	
補助対象事業費 (A)	2,570,888 円	
控除対象収入額 (B)	45,000 円	
補助対象経費 (C = A - B)	2,525,888 円	
補助金交付申請額 （C × 1 / 2 または 補助上限額 のいずれか低い方）	1,262,944 円	

注 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画策定事業））を併せて活用する場合は、国庫補助金のうち実証運行事業費相当分（※）を記載し、該当部分の国庫補助金交付申請書類等の写しを添付すること。

※ 実証運行事業費（A）÷国庫補助対象経費（総事業費）＝実証運行事業費の割合

（小数点以下第3位切り捨て）

国庫補助金交付申請額×実証運行事業費の割合＝国庫補助金のうち実証運行事業費相当分

（千円未満切り捨て）